



福島県立梁川高等学校

学校だより

知性 誠実 責任

第 19 号

令和3年12月21日（火）

賞状伝達式、選手壮行会及び第2学期終業式

12月20日（月）に賞状伝達式と選手壮行会及び第2学期終業式が、コロナウイルス感染症対策のため生徒は各教室で放送を聴くことにより行われました。賞状伝達式では、情報処理検定、電卓実務検定、家庭クラブ研究発表会、県高文祭、家庭科調理技術検定、漢字検定、体力テスト、普通救命救急講習の賞状が伝達されました。次に、バスケットボール部の県大会出場の壮行会が行われました。その後、2学期終業式となり、校長からは以下のような話をしました。

生徒の皆さんにとって令和3年はどのような年だったでしょうか。私は4月から校長1年生として梁川高校に来ました。学校は皆さん生徒が学習活動や部活動、生徒会活動そして進路活動などに主体的に取り組む場所です。主役は皆さん生徒であり、私はコロナ禍の中でその活動をどう支えていくかを考えてきました。また、高校説明会では中学校の生徒や先生方に対して本校のPR活動も行いました。授業参観や学校行事等で皆さんと関わりを持ち1人の教員として「学校っていいなー」と感じた1年でした。皆さんもこの1年を振り返ってみてください。そして良かった点は来年にも生かし、課題として残った点があればそれを克服する努力をして下さい。高校時代は人生の中でも大きく成長する可能性がある時代です。令和4年も皆さんそれぞれの成長に期待しています。

最後に冬休みの間にはクリスマス、年末年始など多くのイベントがある中で、コロナウイルスの変異株「o株」拡大の懸念が報道されています。万一感染拡大となった場合は、今まで通り県教育委員会や保健所と連携しながら対応を進めていきますので、皆さんも落ちついて対応してほしいと思います。現状では、日本の感染状況が大幅に改善し、継続しているのは国民1人1人がしっかりと感染対策を続けていることも1つの要因だと言われています。手洗いうがい、マスクの着用など今まで通り感染対策を当たり前のように徹底して下さい。1月14日の3学期始業式には全員が元気に学校へ来てほしいと思います。

梁高

冬の星空について

コラム

明日、12月22日は24節季の「冬至」にあたり、1年で最も昼の長さが短くなる日である。冬の寒さも厳しさを増してくる頃で、夕方6時を過ぎるとすっかり夜空と

なる。夏に比べると大気中の水蒸気や塵が少なくなるため、晴れていれば南東の空にはオリオン座をはじめとした冬の星座の星々がはっきり見えるはずだ。これらの星座を見るための目印は「冬の大三角」で、オリオン座のベテルギウス、子犬座のプロキオン、大犬座のシリウス、3つの明るい1等星で結ばれる正三角形を探してみよう。その周辺にはギリシャ神話に登場する数々の星座がちりばめられている。是非興味のある人はギリシャ神話を読んでほしい。当時のギリシャ人がこの星空を見てどのような物語を紡いできたのかを知るきっかけとなるかもしれない。

